

タップリベラメンテとフィルタライザーの導入(14)

—自作フィルタライザーの評価—

1. はじめに

[タップリベラメンテとフィルタライザーの導入\(7\)](#)ではフィルタライザーの自作を行いました。フィルタライザーを巻くことができない電源ケーブルが残っています。その理由は電源ケーブルが太すぎて巻けないことやタップまでの電源ケーブルの長さが不足して巻く余裕がないことです。そこで、別の電源ケーブルをもってきて自作フィルタライザーを巻いてみることにしました

2. 自作フィルタライザーの試聴方法

フィルタライザーを巻くことができない電源ケーブルとしては、**EMT981** の電源ケーブルと **BZT9000** の電源ケーブルがあります。いずれも太くて、長さも足りません。手元にある長いものとしては、インフラノイズの旧製品で **USB-101** とか **RMS-1000** とかの電源ケーブルがあってほとんど使っていませんので、これらのケーブルを使うことにしました。

3. 自作フィルタライザーの試聴結果

EMT981 の電源ケーブルは、大分前にオーディオ用の電源ケーブルとして購入したのですが、ブランド名は書いてありません。刻印は、"14-3 SJT 60C (UL) E3462-M - CSA LL7874-M 14-3 SJT 60C FT2 - SHIELDED ROHS 2GH"とあり、検索しますと **BELDEN** 製のようです。これを自作フィルタライザーに巻いたインフラノイズ機器付属ケーブルに替えたところ、音が澄んで細かい音楽の表情が見えるようになりました。



BZT9000 の電源ケーブルはブランド品の **ZONOTONE** の電源ケーブルですが、これ

を自作フィルタライザーに巻いたインフラノイズ機器付属ケーブルに替えたところ、すっきりとした音になり、ソフトタッチで厚みのある ZONOTONE の電源ケーブルとそれぞれの良さがあって選択に迷うところです。



そこで自作フィルタライザーから他のところで使っているフィルタライザーを外してきて取り替えてみますと、自作フィルタライザーや ZONOTONE の電源ケーブルより、しなやかで肌理が細かくなります。これら 3 者を繰り返し比較しながら聴いてみましたが、自作フィルタライザーはフィルタライザーに及ばないところがあるものの、ZONOTONE にそれほど劣っているという感じはしません。このような簡単な中空の木の棒に巻いただけでブランドケーブルに対抗できる音になることはまったく不思議です。しかし、本音のところは既に CCV-5 以降にパワーリベラメンテ、タププリベラメンテ、フィルタライザーなどの効果が十分に発揮されていますので、BZT9000 の電源ケーブルはどれでも大差ないというところもあります。

既存のブランド電源ケーブルとパワーリベラメンテの比較試聴や、既存のブランドメガネ電源ケーブルとフィルタライザーに巻いた付属メガネケーブルの比較試聴はこれまでに実施してきていますが、ブランド電源ケーブルとフィルタライザーや自作フィルタライザーに巻いた付属電源ケーブルを 1 : 1 比較で試聴したのは初めてです。上記の結果から、自作フィルタライザーに巻いた付属電源ケーブルがベルデン製のブランド電源ケーブルを凌いだり、自作フィルタライザーに巻いた付属電源ケーブルが ZONOTONE のブランド電源ケーブルに肉薄できることが分かりました。

4. まとめ

自作フィルタライザーに巻いた付属電源ケーブルがブランド電源ケーブルに十分対抗できることが分かりました。上記より EMT981 の電源ケーブルは、自作フィルタライザーに巻いた付属電源ケーブルのままにしておき、BZT9000 の電源ケーブルは ZONOTONE の電源ケーブルと自作フィルタライザーに巻いたインフラノイズ機器付属ケーブルをときどき入れ替えて使っていくことにします。

以上

